

発 言 通 告 書 < 総括表 >

平成18年 第1回 定例会 代表質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を求める者
1	桜井議員 (自民)	主要5課題をめぐる都区間協議について 平成18年度予算について 次世代育成支援施策について 発達障害のあるこどもの支援について 介護保険制度について 九段中等教育学校について	区長は、今般の財政調整主要5課題の都区間合意をどう評価されているのか。又、今回の合意を踏まえ、今後どのように取り組んでいくのか、改めて問う。 次世代育成支援について幅広く今後どのように取り組んでいくのか。また、推進会議の議論を区として、どのように受け止め、予算の中でどのように具体化しているのか。 「心身障害・発達障害のある子どもへの支援検討会」の発足をうけ、区民からの反応をどのように受け止め、今後予算にどのように反映させるのか。又、小中学校における特別支援教育について区はどのような支援策を講じていくのか。 介護保険制度の円滑な運営と制度の持続可能性の観点から今後の保険料のあり方について問う。 生徒や保護者の期待に十分に答えるべく、万全の体制で開校の日を迎えることができるよう改めて決意を問う。	区長並びに教育長、関係理事者
2	木村議員 (共産)	1、2006年度予算案について	1) 予算編成の根底にある、人件費削減と成果主義、「官から民へ」が、公務労働と自治体のあり方、住民サービスにどのような影響を与えているか。区長の見解を求める。 2) 個別施策について ー高年齢者福祉・介護 ・介護保険料 ・税制「改正」に伴う影響に対して ー住まいとまちづくりについて ・耐震診断助成と開発協力金 ・大丸有の再開発について ー教育問題について ・中等教育学校について ・区立図書館について	区長、教育長
3	大串議員 (公明)	減災対策の推進について	1、減災対策に取り組む基本的な考え方を問う 2、減災対策の推進にあたって マンションや木造住宅の耐震補強をいかに進めていくのか。 災害時要援護者対策をいかに進めていくのか。 子どもが主体となる真の防災教育を実施すべき。 災害時の情報の収集と伝達ができる体制を。 これらを計画的に推進するために数値目標まで示した減災計画が必要である。 今回の「災害対策事業計画」はどのようなものになるのか。	区長並びに関係理事者